

ガボン共和国月報（2014年6月）

2014年6月号
在ガボン日本国大使館

主な出来事

【内政】

- 与野党党首による社会契約の署名
- オマール・ボンゴ前大統領没後5周年式典開催
- 姉妹都市協定締結（ムイラ市（ガボン）・フェス市（モロッコ））

【外政】

- 第2回ガボン・コートジボワール合同委員会開催
- コートジボワール外相のアリ・ボンゴ大統領表敬
- モナコ公国経済発展会議所代表団のアリ・ボンゴ大統領表敬
- チュニジア大統領のアリ・ボンゴ大統領との会談
- キューバ国家評議会副議長のアリ・ボンゴ大統領との会談
- アリ・ボンゴ大統領のAU総会出席

【経済】

- 首都におけるガソリン不足
- ガボン鉱山資源開発プロジェクトに係る大臣記者会見開催
- マウンバ橋梁の開通

【内政】

1 与野党党首による社会契約の署名

6日、アリ・ボンゴ大統領は、20名を超える与野党党首と社会契約（Pacte Social）実施に係る政策協定に署名し、与野党の政治的対立を超えて国民の福祉に資する貧困削減及び社会不公正の是正に取り組む決意を改めて表明した。（UN6/7-9）

2 オマール・ボンゴ前大統領没後5周年式典開催

8日、アリ・ボンゴ大統領は、オマール・ボンゴ前大統領没後5周年式典を開催し、前大統領の在職4年間の功績を称えると共に、国民に対して、同大統領が重視した平和、国家統一及び社会団結といった価値観を引き継ぐよう訴えた。（UN6/10）

3 ガボン・ムイラ市とモロッコ・フェス市との姉妹都市協定締結

12日、ムイラ市（ガボン・ングニエ州都）とフェス市（モロッコ）との間で姉妹都市協定が締結され、両都市間の経済・文化交流の活発化を通じた友好関係の強化が期待される。（UN6/17）

【外政】

1 第10回ガボン・ロシア外交協議開催

12日、ガボン外務省において第10回ガボン・ロシア外交協議（共同議長：イソゼ・ンゴンデ・ガボン外相、ボグダウ・ロシア外務副大臣）が開催された。同協議において両国は、経済交流及び貿易の活発化に向け、あらゆる手段を講じる旨合意した。また、ガボンは、ロシアに対して、石油、鉱山及び木材セクターへの投資、並びにマリ及び中央アフリカ情勢安定化に向けた協力を要請した。（UN6／13）

2 エウラテ西国防相のンポオ国防相との会談

15日、ガボン訪問中のペドロ・モレネス・エウラテ西国防相は、ンポオ・ガボン国防相と会談を行った。両国防相は、拡大作業部会において、テロリズムや海賊といった共通の脅威に対して、訓練を中心とした軍事協力をさらに強化していきたい意向を示した。また、西国防相は、スペイン軍事産業視察にガボン国防相を招請した。（UN6／16）

3 メイバス米海軍長官のンポオ国防相との会談

16日、ガボン訪問中のレイ・メイバス米海軍長官は、ンポオ・ガボン国防相と会談を行い、現在ガボンにおいて米軍により実施されている国立公園における密猟取締り・国境治安訓練に言及しつつ、ギニア湾安全保障における米・ガボン協力の重要性を確認した。（UN6／16）

4 第2回ガボン・コートジボワール合同委員会開催

17－19日、1998年にアビジャンで開催された第1回ガボン・コートジボワール合同委員会に続き、第2回同委員会がリーブルビル市内で開催され、かつて締結された二国間合意の実施に係るフォローアップが行われた。（UN6／18）

5 コートジボワール外相のアリ・ボンゴ大統領との会談

19日、ガボン・コートジボワール合同委員会出席のため当地訪問中のコフィ・コートジボワール外相は、アリ・ボンゴ大統領と会談し、ワタラ大統領の特使として同大統領の親書をボンゴ大統領に伝達した。（UN6／20）

6 モナコ公国経済発展会議所代表団のアリ・ボンゴ大統領表敬

24日、モナコ公国経済発展会議所代表団がアリ・ボンゴ大統領を表敬し、観光・海洋インフラ、サービス及び環境分野における投資の可能性について意見交換した。（PR6／24）

7 マルズキーニ・チュニジア大統領のガボン訪問

24日、マルズキーニ・チュニジア大統領はアリ・ボンゴ大統領と会談し、二国間の外交関係の強化及び新たな経済協力の推進につき議論を行った。また、両首脳は、アフリカにおける安全保障に関しても意見交換をし、テロリズム、海賊問題、国境紛争等の解決には二国間、地域間及び国際レベルの協力強化が不可欠である旨再確認した。（PR6／26）

8 メサ・キューバ国家評議会副議長のアリ・ボンゴ大統領との会談

24日、メサ・キューバ国家評議会副議長は、アリ・ボンゴ大統領と会談し、保健、スポーツ及び教育分野における二国間協力関係の強化について意見交換し、今後他の分野にも

協力関係を広げていくことを確認した。(PR6/24)

9 アリ・ボンゴ大統領のAU首脳会議出席

26-27日、アリ・ボンゴ大統領は、赤道ギニアの首都マラボで開催された第23回AU首脳会議に出席し、今次首脳会議の主なテーマである「農業と食糧安全保障」について各国首脳と協議した。また、ボンゴ大統領は、本会議の-marginにおいて、他の中部アフリカ諸国首脳と中央アフリカ情勢への対応について協議する場を持ち、中央アフリカの治安及び人道状況の改善に向け強い決意を示した。(PR6/27)

【経済】

1 首都リーブルビルにおけるガソリン不足

上旬、首都リーブルビルにおいてガソリンが不足し、市内スタンドで長蛇の車の列が見受けられた。この事態に対し、政府報道官は、ソガラ社の製油能力が低下し需要に応えることが困難になっている、その結果、事態の根本的な解決には新規製油所の建設が必要である旨声明を発表した。(UN6/10-11)

2 ガボン投資利益率、112カ国中第33位

上旬、Baseline Profitability Index (BPI)は、米国雑誌「フォーリン・ポリシー」に世界112カ国に係る投資収益率の調査結果を掲載し、ガボンを第33位に位置づけた。(PR6/18)

3 首都リーブルビル、チュニスに次ぎアフリカで最も潜在的経済成長力が高い都市に選出

9日、マスターカード社は「2014年アフリカ都市経済成長指標」(ACGI)を発表し、リーブルビル市を「中部アフリカの中心都市」と評し、同市の経済成長潜在性について、調査対象となったアフリカ74都市中上位から2番目に位置づけた。(PR6/18)

4 ガボン鉱山資源開発プロジェクトに係る大臣記者会見開催

12日、イモンゴ鉱山相は記者会見を開き、富と雇用を生み出す鉱山資源の一部現地加工の重要性を改めて説明した。ベリンガ鉄鉱山に関し、2023-2025年の開発を目指す旨発表した。また、パイロット生産工場の操業開始が2016年に予定されているマブミン多種金属鉱山に関し、約200名の現地雇用創出の見込みである旨期待を述べた。(UN6/13)

5 第1回ガボン・石油・ガス・フォーラム開催日決定(2014年10月22-23日)

当初5月に予定されていた第1回ガボン・石油・ガス・フォーラムが石油・炭化水素省及び投資輸出促進庁(APIEX)の共催で本年10月22-23日に当地で開催されることが決まった。ガボン政府は、本フォーラムを通じて市場としての魅力を伝え、外国からの直接投資を更に呼び込む狙いである。(PR6/19)

6 マンバ橋梁開通

21日、アリ・ボンゴ大統領臨席の下、2010年5月に建設が始まったマンバ橋梁の竣工式が開催された。同橋梁の開通により、人・モノの活発な移動、具体的にはニャンガ州の鉱山資源開発を通じた同地域の経済発展が期待される。(PR6/20)

【出典】PR(ガボン大統領府HP)、UN(ユニオン紙)、GM(ガボン・マタン紙)